（十二日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭日翌日曜第三日曜
定價（壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢）
廣告料（二行五十錢指定廿錢増）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

公式通用的文藝理論を排す

平五　片寄耽二

絶對的信仰—そは奴隷的信仰であり一個の迷信であり阿片である。

眞理を熱愛し眞理を探求したギリシャ哲學からキリスト教の絶對的威權への奉仕に轉落した中世初期のスコラ哲學は民衆から完全に光明を剝奪した一切の偶像を破壊し一切の誤れる先入見を去り自己の實驗からの歸納を説いたフランシス・ベエコンの經驗學派は實に近代自然科學の源流をなすものである。

× ×

然るに本紙上の所謂、自稱マルキスト、氣分上のりシャリスト其他プロレタリア文藝理論家を以て自任する思想家達の迷論は唯一ハ根定はマルキシズム一點張りである樣に思はれる。

そはマルキシズムへの盲目的突入！無批判的盲信である。否それは一個、宗教的迷信にまで化してゐる如くでもある即ち彼等は擬似ソーシャリストデモ、プロ文藝理論家達にはマルキシズムの方法論的理論が即ち直ト文藝の方法論的理論の如く錯倒盲信する雜輩がゐる

然しかゝる迷蒙錯蕪はブハリンやルナチャルスキイの眞髓を知らざるものゝ痴言である！それは特に淺學なる公式適用的文藝理論であり理論拘泥主義の好典型に非ずして何であるか

× ×

マルクス主義には三大源泉—即ち獨逸古典哲學、英國古典經濟學、佛蘭西社會主義—がある。然しレーニンの言へる如く科學的社會主義は又は此れ等のものを機械的に結合することをせず、渾然たる唯一の物を鍛之鑄直したのである。

更にレーニンは「マルクス主義を理解、研究し定礎らに書籍と文學を體係だ

けを專ら視野に於てゐたのではなく階級闘爭の全速環世界の全發展を視野に入れた」（ジーウイエフ）のである。

× ×

（今日はレーニンの所謂「資本主義最後の階段たる」たる帝國主義時代であり「資本の攻勢」時代であるが、かゝる現階段の特殊な發展段階の客觀的狀勢の測定を輕視し資本主義は沒落に直面してゐる。社會〇〇の前夜であると見るは理想主義的な誤謬に陷ち入つてゐる左翼小兒病患者の別流しある。

——××主義の沒落は勿論太陽の如く明かになる不可避的な事實なのである。

然し現段階は資本主義の安定時代であると從つてブルヂオア藝術もその爛熟せるブルヂオア藝術の園は濃艶な頹廢々的享樂的な花をして然として咲き誇るのである。

× ×

滔々たる擬似マルキシスト一點張迷中のプロ文藝理論から我等は何物を獵たかゞ壞れたトオキング、マミインの騷音と饒舌！淺薄なるイニテリゲンチャへの空想的な反逆精神の自己陶醉と安價な革命氣分のどぶろくに亂醉せる世紀の道化役者の痴態！左翼小兒者のダンスマカブルである

一九二九、二、八日

※明日の吉凶※
新暦二月十三日
舊暦一月四日

▲一白　金線あるが如く見えても手中に止まり難し▲二黑　義理の爲に知りつゝも不利に陷る事あり▲三碧　一時は良けれど久しからずして憂ひとなる▲四綠　今日の地位に安んじ心を動かさぬが安全なり▲五黃　平和なれども何となく心の晴れ〳〵とせざる日▲六白　一歩は一式よりも勢ひ付きて發展し行くべし▲七赤　朝口は思ふ樣ならざれども午後は大吉なり▲八白　身下の事に口が出して辛勞することあるべし▲九紫　あせらずとも前途坦々たる愉快の域に出づべし

講談　幕末[illegible]

（157）　渡邊默禪作　宮野歌春畫

天晴大出來、政府委員の資格は十分である。中には新參の癖に出過ぎた奴と思ふ者もあつたが自分等は古參の親戚でもその古參が何代前だか知れぬといふ程ハ大かびの古參、遠い〳〵緣續きなのであるから甚だ勢力が振はぬ、新參と云つても濟之助は末亡人の叔父、一番密接な關係があつてしかも頭の明断した能辯家である。全然大臣の前に於ても御用議員云々ともすうとも言はれたものではない。

「先づ私だけの考を申しませうならば勘當された御子息の勘太郎どの、只今は何處にござるやら、とんと行方も存じませんがたとへ何樣な過失そそうがあつても家の嫡男である以上は是なりに打棄て置くべきものではござらんに依つて一應本人に過つて改心したかどうかを確め實心を入替へたものと見込がついた以上は一同で佛の前に取做しをして本人にも位牌へ詫をさせてそれから勘當を許して跡目を相續させるのがコレ當然の事かと存じまする」

意外なことを言出したので流石は越前屋さん、分つた人だといづれも感服してその顔を仰見げた

「いかにも〳〵、左樣々々」

と其方此方に贊成の聲が起る

「所がです」と濟之助はそれを抑へて

「そうしたくとも出來ないことが茲に一つ御座りますので、私も實は途方にくれて居りまする譯」と云ふ

「は、そりやど如何いふ譯でございますな」

と一人が訊ねると

「遺言」があるので、亡勘兵衛どのゝ遺言狀がありますのでッ」と聲を大きく叫んだ

「皆さま、た聞き下さい、只今それを讀み上げます」

と濟之助は袴のひだを取つて前へ乘出した

その手にはた萬から請取つた一枚の書類。白むくの束ね髮哀れな喪服姿のた萬は此時鼻紙を顔に充てゝ打しほれつゝ泣いてゐた

濟之助が讀上げた遺言狀は

拙者多病に付萬一の儀有之候共跡々差支候樣の儀無之爲前以差圖致置候事

一、勘太郎儀勘當致候上者當人より如何樣の事申出候共歸參差許間敷、家督相續等以ての外に御座候

一、た雪儀神保樣方一生奉公致し候共又は他へ緣附き候共本人の望に相任せ申可、斧取分家等相成間敷候事

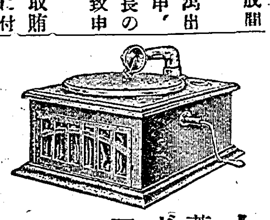
一、跡目相續の儀者た萬出生の實子と相定め可申、萬一女子に候はゞ成長の後養子貰受相續可爲致申事

一、家事向萬端者た萬取賄で可申富藏永年精勤に付後見可爲致申別して渡世向精出候樣頼み入候事

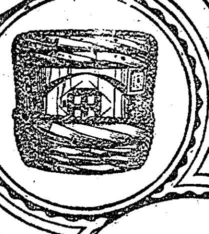
勘兵衛

「皆さま、お聞の通りでございます。勘兵衛どのゝ直筆實印、念の爲め一應御あらためを願ひまする、」と濟之助はそれを座中に廻して一見すべく促した

驚いたのは親戚である。勘太郎の相續は叶はぬとしても切めて歸參を許して分家させるぐらゐな特典は有りさうなもの、又た家督は妹のお雪が當然相續すべきものと信じてゐ。たそれが二つさものつけから排斥されてた萬と富藏より外に人間がないやうに認めてゐる是はとばかりあきれはてたが手蹟も勘兵衛に紛れなく實印までちやんと据つてあるので異儀を入るべき餘地がない、筒井流に旗色を着て取つて成程々々結構々々などとたべつかる案早い奴も出て來た



大景品付大投賣
蓄音器レーコド
ヴァイリン、ハーモニカ、マンドリンの特賣を
舊正月二、三、四日の三日間限り
開始致します
販賣部　コロンビヤ會社　ビクター會社
三光堂　平町二丁目

ヒゲタ醬油
宮内省御用達
九升樽詰　二リットル罎詰

銚子醬油株式會社
特約店　平町田町　廣瀨支店　電話五四番

内臓外科
外科一般
花柳病科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町大通り
安齋外科醫院
電話四三六番

廣告
平町南町
上田醫院
電話一七〇番

早稻田大學學生募集

高等學院　第一學年
第一（文科、理科、三年制）　願書受付、二月十五日ヨリ三月廿七日迄　入學試驗、三月廿九日同三十日
第二（文科、二年制）　願書受付、三月一日ヨリ同廿五日迄　入學試驗、三月廿七日同廿八日

專門部　第一學年
政治經濟科・法律科・商科　願書受付、三月十二日ヨリ四月一日迄　入學試驗、四月四日同五日

高等師範部
國語漢文科・英語科・豫科　願書受付、三月十五日ヨリ四月四日迄　入學試驗、四月六日同七日

早稻田專門學校（夜間）第一、二學年
政治經濟科〇法律科〇商科
願書受付、三月十一日ヨリ四月十日迄
中學卒業及同等學力者ハ銓衡ノ上入學セシム
各科第二種專門學校第二學年生願書受付期間ハ別ニ
（注意）詳細ハ三錢郵劵相添へ志望學科明記各事務所へ照會ノ事

磐城病院改稱
市原病院
平町田町（電話一一四番）
内科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
外科、梅毒、淋毒　市原三三男

平町田町
高久病院
電話五一三番
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄
内科小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科、

主婦之友三秀會製品
新春の帶側陳列會
時、一月十二十三日
所、弊店階上
銘仙　錦紗　モスリン　御召
御用命下さい
平町
三井呉服店

百人一首
これやこの老へも若かきも正札堂
よらぬ者なし買はぬ者なし
俺が服見よ、自慢ぢやないがかわぬ者ない（誰も好いてる）正札堂
アラ正札堂
物は試めしよ、正札堂へ來てよ見さんせい服かへにアラ正札堂
薄利多賣はこの店の主義
不景氣なかせの福の神
アラ福の神

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切丁寧に御教授いたします、た遊びがてら御出で下さい。
平町十五丁目通り
須藤まつの

内科、小兒科（院長每日診療）
院長　醫學博士　難波睦
副院長　醫學士　五十嵐雄次
内科部長　中西林藏
外科一般
外部長科　醫學士　氏家憲介
每日曜手術　醫學博士　鈴木退輔
産婦人科、女子泌尿科
産婦人科部長醫學士　五十嵐雄二
顧問　醫學博士　川添正道
×光線科
主任　醫學博士　難波睦
本院醫務法制囑託　法學士　岡蕃
本院主事　賀澤忠治

御大典記念事業トシテ
一衛生試驛所（共濟病院内）十一月一日ヨリ開始
一病氣相談所（共濟病院内）十二月一日ヨリ開始
一救療所（共濟病院内）十二月一日ヨリ開始
磐城共濟病院
看護婦見習募集　平町電話六四一番

貸地廣告
古鍛冶拾番地（縣社下天理教會東材木店跡）
病院商店工場並ニ高級住宅地トシテ最適地　貳百五拾坪
右極安値永久ニ御貸致マス（分割モ可）
御希望ノ方ハ電話四四又御來談下サイ借地人本位ニ御相談シマス
平町古鍛冶拾番地
櫻山
阿康藥店……電話四四番

安全第一
諸債券、公債ノ御用ハ迅速簡易ヲモツトートスル弊店ヲ精ニ御利用クダサイ
營業課目
勸業債券・復興債券・公債其他　兩替　金融
質物一般取扱
多田井商店
平町大工町

優秀なる最新型腕卷時計
クローム側　白金代用側
十型十石入アンクル　七圓五十錢
十型十五石入上アンクル　拾壹圓
九型十石入上アンクル　九圓五十錢
九型十五石入上アンクル　拾三圓
八型十五石入アンクル　拾貳圓
八形十五石極上アンクル　拾五圓
十八金側（金質保證）
十型十石入上アンクル　拾貳圓五十錢
十型十五石入上アンクル　拾八圓五十錢
九型十五石入上アンクル　拾五圓
八型十五石入上ヤンクル　拾七圓
鐵道省御用
平町五丁目（釜屋商店前）
金光堂時計院
電話七三六番

好晴に惠れた舊正二日市
平町の人出十五萬人
本町通りは全く行通杜絕し
撒かれた金が卅萬圓

平町の商街が年中の最大行事として力瘤を入れる書入れの舊二日市に相當する十一日此の日前夜から珍らしくも降つた粉雪が地上を僅に白く染めてゐるのみで活動歸りの人影も漸く杜絕え何處かの時計が闇の靜寂を破つて靜に一時を打つた頃からモデリ外套の襟を深く立てた

村の若い衆でもあらう本町通りを東に歩んで行つたのを皮切りに一番駈けで最上の景品にあり付かうと言ふ慾の皮の薄くない連中が凍てついた大路小路に下駄の音を響かせてゐる、午前二時半頃になると商家と言ふ商家の店戸がカラッと開け放されて紺の香も新しい印絆纏に赤、黃、紫等色さん／＼の向ふ鉢卷勇ましい大僧、小僧連中の聲が張り上げられた夜のしら／＼明け初める頃から人足は

漸次繁くなり午前六時頃になると驛前から田町大通り本町通り等の大商店小商店は眞黑の人出を築き押すな／＼の騷ぎも物凄く七時、八時と時が經つノト從つて人足は愈々加はり九時半頃になると流石に廣い本町通り一杯が人浪を造る人出は物凄く張り上げられる店員達ちの呼聲も聞きとれない程の雜沓振りで

正午頃は全く身動きもならない程よくも出たものですね、十五六萬位の人出でせうよと警戒中の平署平田次席警部補が囁いてゐた、此の日平驛の乘降は案外少く約一萬二千人平日の約五倍近くとあるが鐵道の株を奪つて大馬力に活動を續けてゐる乘合自動車はどれも此れも鈴成り滿員の盛況で景品を付けないだけに汗だく／＼しながらもボロイ儲に北叟笑んでゐる

東北一こ稱される五丁目の釜屋此の日の賣上げは三萬圓を越したらうと噂されてゐる處ろから見て二日市當日平町に散かれた金は三十五萬圓は下るまいと見られ不景氣風に吹き續けられてゐた平町商街も此の日ばかりは稀有の大々けい氣振り黃時時代と言はれた戰前戰後の好況時代の二日市にも此れだけの人出は見られなかつたとむるから其の雜沓振りも想像される、而かも不けい氣の聲をよそに稀有の此の

人生を見た原因は紀元節であり殊に鳴物入りに各商店が吸客に努めたのと好天候に惠まれたからとも言はれるが久しく沈靜してゐた當地方の財界に一脈の活氣が漂つて來た事が最大の原因と見られてゐる兎も角當日の平町の大活況振りは眞に稀有の賑ひで市內ノ釜屋、三井、鹽屋、つるや大谷、中野その他屈指の大商店は言はずもがな

町端れの三文店に至るまで黃金の津浪で洗はれた事は事實である

郡農會で 桑園改良
最善の大努力

石城郡地方農村の收繭は最近著しい減少を來たしてゐるが農村疲弊の原因も大いにこれに起因してゐるのでこれが救濟策に當局も苦心調査を遂げたところ桑園の全々改良を要するものが多數を占めこれが爲め蠶の飼料たる桑葉が不良質となり蠶の發育狀態を粗害さるものと判明したので縣當局では目下の緊急策として大いに桑園の改良法を宣傳獎勵しゐる

舊正二日の賣出しに
萬引女が六人
平署の私服隊が警戒し
何れも五十の女

平警察署では別項の如く未曾有の活況を呈した昨舊二日の特別警戒の爲め例年ノやうに全署員の總動員を命じ猪狩署長が陣頭に伊藤、鯨岡兩司法主任を始め五十餘名の私服隊を組織し釜屋三井吳服店、鹽屋其の他市內屈指の大商店に張り込み警戒を爲した結果警戒網に引掛り檢擧された者は

△鹿島村大字上矢田字農長瀨ハル(五七)は市內第一の雜沓を極めた三町目角の大黑屋洋品店口頭から毛糸しやつ一枚外二點代約十一圓分ノ洋品を萬引更らに同三丁目大谷時計店から子供帽子一個代三圓を萬引せんとしたノを張り込んでゐた橫地部長の爲め逮捕△鹿島村大字上矢田長瀨タッ(六二)は三丁目前記大黑屋洋品店々頭から部腰卷外數點代約十圓分を萬引したのを張り込み中ノ鳴原刑事に逮捕各れも嚴重取調ノ上一件書類のみ送檢され此ノ外萬引四件あるが各れも微罪の爲め取調の上放還されたが萬引犯人六名共全部女で然も五十才前後の者であつた事も一奇である

優良な看護婦 平町

一丁目廰崎産婆看護婦學校伊藤千代子氏は好間村隔離病舍に、また同校出身長谷川フクヨ女は平町隔離病舍に勤務し何れも精勵職務に盡悴した廉により前者は金成村長より後者は伏見町長から表彰された

新川堤の櫻木を
助けたいとの輿論
新川工事で當管に起る
南町區民の運動

平町の隅田堤として濱通り各地方に知られてゐる櫻の名所新川堤は平町外二ケ村からなる水害豫防委員會の決議に依つて右櫻を移植し防水工事を施す事になつた事は既報の知くであるが同所をして櫻の名所とするまでには平町在郷軍人分會靑年團が涙ぐましい努力を拂つたものであるこれ等の關係から南町方面には櫻の移植を非常に遺憾とし目下寄々移植反對の協議を進めてゐるが同所に工事に少しの變更を加へれば櫻の移植をなすこともなく然も經費に於ても既設設計に比し相當輕減することゝり出來るので同町方面では來る十九日執行される防水害組合議員改選を機とし櫻樹移植反對ノ運動を起し名所存續の目的を貫徹する由である

磐女生の遠足 磐城

磐城高等女學校全校生徒は今十二日午前八時から鎌田方面に郊外遠足を試みたが午後一時無事歸校し、

農産品評會
大野村主催で

大野村では明十三日午前十時から同村小學校に於いて昨年中同村農會主催で擧行した二毛作立毛品評會、桃果品評會、農産物品評[會]等全部の褒賞授與式を擧行する事となつた尚郡農會から大山技師を迎ね農事講演を聽講する筈である

亂暴千萬な 村會議員
毆て告訴さる

石城郡川前村大字下掬字高部猪狩惣兵衛(四七)は同村會議員猪狩彌一(四二)を相手取り平町千葉辯護士を代理人として平檢事局に傷害の告訴を提起した、理由は去月廿七日同字ノ分敎場を靑年團の夜學に使用した際顧問ノ彌一に相談なく使用したことが惡いとて始末書を出せと團長ノ惣兵衛長男惣市郎、迫つたので幹部が集合し協議中ノ處へ彌一かあばれ込みそう兵衛を毆打し全治二週間を要する傷害を負はしたものであると

梅崎氏が授賞 平町

私立磐城訓盲院主梅崎安由氏は昨十一日の紀元節の佳辰に社會事業功勞者として加勢知事より表彰された

公賣公告

東京府下瀧ノ川中里一九一ノ四〇
滯納者　井上武八
福島縣赤井村地內
石炭鑛區　參拾萬五千六百坪採掘鑛業權
右國稅滯納ニ付前記財産昭和四年二月十八日午前十一時ニ平稅務署ニ於テ入札ヲ以テ公賣ニ付ス買受望人ハ當署ニ就テ詳細承合ノ上入札ヲ爲スベシ
昭和四年二月八日
平稅務署長

鑛業權差押取消公告

石城郡內郷村
矢郷倉藏
石炭鑛區第一二五號
右稅金完納ニツキ本年二月六日差押ノ前記鑛區ノ差押ハ之ヲ解除ス
昭和四年二月九日
平稅務署長

畜産講話會
十四日から澤渡で

石城産馬畜産組合主催の馬畜産講話會は來る十四、五の兩日石城郡澤渡村中寺に於て開催するが講師農林技師小原長吉氏は馬匹蕃殖育成飼養管理護蹄に於て講話をなす筈である

渡邊講演
平町の各所に於て

栃木縣統計研究所渡邊亥八氏は十三日午後五時より平十三日會席上並に午前中は佑賢學舍、郵便局、藤田、平陽ノ各學校に於て更らに十四日は元郡會議室に於て平青年團ノ爲め「吾邦の人口增加と青年の自覺」と題する講演をなす筈

偽大盡の末路
便所から逃げる處を
天下御免の怪物

平町字南町飲食店丸屋事木部ナッ方に昨十一日午後十時頃一見商人風三十五六才位いの男が登樓酌婦二名を相手に飲食代十一圓五十錢の遊興をなし家人の隙を目て裏手便所から逃走したが折柄附近を密行中の平署猪狩刑事ノ爲めに逮捕され本署に引致の上、嚴重取調べ結果此奴は當時住所不定無職河沼郡廣瀨村大字沼越生れ石田一(三六)と稱し前科四犯を有する强たか者で去る七日若松刑務所を出獄後當地方、流れ込んで一稼せんとしてゐたもノ、ある事判明引續取調中である

平相談所で 糯米配給
管內の五十戶

平人事相談所では舊年末に際し同所管(平町を除く)貧困者百六十名四十六戶に對し一人平均糯米二升づつを支給する事となり去る八、九日夫れ／＼駐在所の手を經て配給した

小田氏美擧
相談所へ五十圓

好間村小田吉治氏は昨一一日紀元節の佳節を卜して平人事相談所へ金五拾圓の寄附採納方を申出た

磐崎農會協議 磐崎

磐崎村農會では來る十四日午後一時から同村役場內に總代會を召集し會長辭任に伴ふ改選ノ件外新年度の豫算其ノ他事業經過の報告ある筈

かみくづ

◆泥中の蓮、砂中の珠ともいふべき藝者ノ戀愛美談を放送いたします、番ひ離れぬオシドリの、とアンマリ仲が好すぎた爲めでもあるまいか、思ふ男が病氣になつて東京に病を養ふ身となつた、たとへ身體は離れても心はラジオは互に放送して僅かに慰め合つたものだ◆處が假りの病と思ひしに日增に重る病付さは、衰へ行く身の果敢なくも歸らぬ旅路につきにけりとなつたのは誠に御愁傷ノ至りサ◆がいくら悲しんでも涙の中に身をも浮く計りといふ身體が浮き上るのは噓だその藝者の帶上げの中には其男ノ寫眞の自分の晴着の寫眞がピッタリと抱擁して、そして「アタイもう有髮ノ尼よ」と眼に露を宿しての一言は聽く人の胸を突くのである。

平町に愈々出來る
無料の宿泊所
是か非でも無くてはと
平紹介所で調査

停止するなき深刻なる不景氣の爲各種勞働者ノ流動は最近ます／＼激しく平職業紹介所の門戶を叩く者が非常に增加して來た、然もこれ等多くの勞働者の中には一夜の宿料さいもなく止むなく一夜ノ宿を紹介所に申し出る者もあるので同所では手古摺つてゐるこれがため同紹介所では附帶的事業となつてゐる無料宿泊所設置が愈々必要に迫られ目下各方面ノ宿泊所經營方法につき調査を進めて居る石城郡共濟委員會でも現在の情に鑑み無料宿泊所の設置に關しては大に努力する事となりそれ／＼考究中であるから近く何等かの方法に依つて無料宿泊所の設置が具體化するものと見られて居る

「藝者と女給」漫談會（上）
速記者（創一路生）

出席者
A君既婚者　二十五才
B君未婚者　二十五才
C君同　二十四才
D君同　二十五才

A「今夜はかねて御知らせしてきました藝者と女給論の漫談會です、これから初めますから遠慮なく思ふ存分解剖のメスを振つて頂きたい」

C「昨年の暮から藝者や女給達の猛烈な反對論を押しきつて愈藝者と女給ノ檢黴制度が實施される樣になつたがこうなると以前と違つて藝者も女給も公然淫賣してもいゝやうに解釋され何んだか品位が下落して安つぽくなつた樣な氣がするネ、あの時は彼女達、隨分口惜しがつた、せうね」

B「處がどうして口惜しがる樣な感心な奴は曉天の星程ゐないよ彼女達の面の皮は千枚張だからねそんな恥しい處を檢査されてもたそらく平氣の平左だよ」

C「それはちつと慘酷すぎるね、彼女達だつて赤い血の流れてゐる人間だもの」

D「亡國病と迄言はれてゐる花柳病撲滅のためには彼女等の見榮や外分をかまつてゐられないだらう然し一つ憤慨に堪へないは警察の取締方があまりに矛盾してゐると思ふ即ち何處の料理屋へ行つても新しい消毒器は備付けてゐるが恐らく消毒藥の這入つてゐたためしはないね、勿論そうは料理屋の怠慢かもしれないが一体に警察ノ取締が片手落だからだ大いに糺彈すべきだ」

R「それは實際たしかです拙角この不けい氣に安くないた金を出して消毒器を死藏してたくなら、むしろ無い方がましだね、例へばこゝに或男があるとして、その男は當然消毒器には消毒藥があると信じて消毒しようと便所へ行つたが消毒藥がないため遂に花柳病に感染したとしたならその罪は警察と料理屋は幾分なり分擔すべきものだと思ふ」

A「君のやうに一々消毒器を檢査して見た用心深い人ばかりだといゝがそうばかりは行かない警察の取締は全く片手落だ」

B「時々新聞に藝者やカフエーの女給連が著しく風紀を亂してる警察は今後嚴重に取締ると言ふ記事が出るが一体平の女給や藝者はそんなに淫賣してるだらうか、A君はその方の通だから知つてるだらう」

A「どうも有難くない通すね、女給の方はよく知らないが藝者の方は少しは知つてる、憚かに不見轉藝者が多いね」

D「へねー、そうですかねでも昔の樣に藝は賣つても身に賣らんと言ふ貞操の切賣ノ絶体しない藝者はゐるでせうか」

A「そんな立派な藝者は恐らくないでせう、中には良い且那をパトロンに持つてる藝者は且那に丈け貞操ノ卸賣はするが絶体他のお客には小賣のしない……」

しばらく笑聲

D「まるで商品扱だな」

A「藝者なんて一種の變形的商品とも言へるよ、此頃樣に不けい氣の深刻化してくると彼女達も數こなす商人ならば所謂薄利多賣主義と言ふ處だね、彼女達も盛んに廉賣するよ、料理屋を善く言へば社交場かも知れないが極端に僕に言はせれば人肉買市場だね、貞操ノ賣：藝者とそれを買ふお客とは互に市場である料理屋に會合して取引をやる丁度魚市場に濱の鮮魚商と町の小賣商が集つて取引をするのと變りはない」

D「成る程名論だ」

A「いやまり有かたいかね、知れないが」

B「A君かゝつては藝者も可哀想だ」

公賣公告ニ就キ謹告

本月八日本紙夕刊第二面公賣公告滯納者矢鄕倉藏石炭礦區三十萬余坪ノ公告記事ニ就イテハ全然小生ニ關係無之尚ホ今日石炭礦區九萬二千四百四十七坪ノ差押處分ニ對スル國稅滯納金ハ既ニ完納濟ニ相成リ候間各御取引先ニハ何等御懸念無之樣奉願上候
追而事業方面ハ大イニ擴張致シ日々出炭ノ量ヲ加へ發送致シ居リ候間相不變御引立御援助ヲ賜リ度ク此段謹告候也
昭和四年二月十二日
內郷村大字白水
磐城　神奈川炭礦々業所
矢鄕倉藏

高級車貸切
開店披露
自動車御用ハ
電話三四三番（サシミ）
平驛前　昭和タクシー

入院隨意（自炊の便あり）
X光線　外科專門
平　南町
上田外科醫院
電話一一二番

改正　片濱乘合自動車時間表

平發	江名發
五時三十分	五時三十分
六時三十分	七時
八時	七時五十分
九時	九時二十分
十時	十時三十分
十一時	十一時五十分
十二時三十分	一時
一時五十分	二時
三時	三時三十分
四時	四時四十分
五時二十分	五時四十分
六時三十分	六時四十分

平のりば　四丁目和泉屋前　新川町車庫
江名のりば　沖見屋　電話十四番　松屋
鈴木片濱自動車部
電話二一七　車庫呼出電話一四二

內科、小兒科
花柳病科　入院應需
藤沼醫院
平町
電話平[illegible]五〇七番